

【国語科】 第2学年 単元名「話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする」

令和元年 11月15日（金）第5校時
 2年A組（男子15名、女子16名 計31名）
 指導者 朝比奈明子（指導教室 多目的室）

1 単元の目標

群馬県の魅力についてパネルディスカッションをする活動を通して、資料を用いて集めた情報を根拠として自分の考えをもち、相手の立場や考えを尊重しながら発言を比較、検討して自分の考えを広げる。

2 指導計画（全6時間）

- 第1時 パネルディスカッションの方法や目的を理解し、群馬県の魅力について、6つの立場（自然、温泉、世界遺産、食文化、伝統文化、人情）でグループを編成する。
- 第2時 自分たちの立場の意見を考え、図書や広報誌、新聞等から、自分たちの意見の根拠となる情報を選び、情報カードに記録する。
- 第3時 第2時で収集した情報について、パネルディスカッションをする際に効果的な情報をグループごとに検討し、情報を選択する。
- 第4時 第3時に選んだ情報を基にして、自分たちの立場の意見をまとめ、意見に対する反論を予想し、対策を考える。
- 第5時 役割を分担してパネルディスカッションを行い、立場の違いを明確にししながら、意見を発表したり、質問したりする。
- 第6時 パネルディスカッションの討論の内容や、進行の仕方について振り返る。

3 司書教諭（図書主任）との連携及び使用図書等

- ・10月上旬 群馬県立図書館へ、群馬県の郷土や自然に関する図書の貸出を依頼。
 草津町立温泉図書館へ、草津町の広報誌や温泉についての図書の選書と貸出を依頼。
 嬭恋村立嬭恋中学校へ、新聞の貸出を依頼。
- ・10月中旬 群馬県立図書館より、図書54冊と群馬県に関する冊子を借用。
 草津町温泉図書館より、図書20冊と草津町の広報誌を借用。
- ・11月上旬 嬭恋村立嬭恋中学校より、6社の新聞の9月、10月分を借用。

4 本時のねらい

複数の資料から集めた情報について、根拠の明確性や説得力を検討し、相手や目的に沿ってパネルディスカッションに必要な情報を選択する。

5 本時の展開（3/6）

学習活動（分） ○：留意点、点線枠：評価、☆振り返りの子どもの意識	使用する図書等
1 本時では、前時で集めた情報をグループで持ち寄り、クラスの友だちに群馬県の魅力を伝えるためにふさわしい情報は何かを考えることを知る。（5分） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて：パネルディスカッションにふさわしい情報とは何かを考えよう。</div>	
2 前時で自分が集めた情報の中から、パネルディスカッションにふさわしいと考える情報を1つ選び、グループで発表し合う。（10分） ○情報を選ぶ観点を各自で考えさせながら、情報を選択させる。	・調べる！47都道府県 伝統工芸で見る日本（同友館） ・食卓で語り・引き継ぐぐんまの伝統作物（群馬県スローフード協会） ・ぐんまの大地 生いたちをたずねて（上毛新聞社） ・ニッポンの温泉（樫出版社） ・おもしろサイエンス 温泉の科学（日刊工業新聞社） ・草津町広報「いでゆ」 ・群馬県広報「グラフぐんま」
3 グループで出し合った情報を、観点に基づいて比較する。（10分） ○「視覚的に伝わる情報はるか。」「情報は新しいか。」「他の意見にはない長所があるか。」の3つの観点から、情報を評価させる。	
4 調べた情報について、パネルディスカッションに使える理由と使えない理由をまとめ、パネルディスカッションに使う情報をグループで2つ決める。（20分） ○パネルディスカッションの相手と目的に注意しながら、資料から得た情報の、根拠の明確性や説得力を検討する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【評価項目】集めた情報の中から、相手と目的に合った情報を、理由を明確にして選択している。（ワークシートの記述）</div>	
等 合計 約100冊	
5 本時の学習を振り返り、「振り返りカード」を記入する。（5分） ☆クラスのみみんなに群馬県の魅力を伝えるためには、絵や写真、新しい情報、長所のある情報の中から、目的や相手に合わせて情報を選ぶことが大切なのだ。	

〈写真① 情報カードを発表する生徒〉



〈写真② 教室全体の様子〉



〈写真③ 複数の情報カードを比較する生徒〉



〈写真④ 資料を見ながら友だちと相談する生徒〉



〈ワークシート 生徒の記述〉

⑤	④	③	②	①	例
戦中、倉庫に眠っていた生糸を輸出し、平和な時代に到来を静かに待たせていた。	全国から女性が生糸を呼ぶために7時間以上も働いた。	富岡製茶場の特色は、和洋折衷の技術を取り入れられていること。	外国の技術をひいて品質を向上させることにした。	生糸機の工夫がなされたこと。	・富岡製茶場が世界遺産に ・富岡製茶場の歴史が長い ・富岡製茶場の特色がある。
×	×	△	×	△	×
○	△	○	○	×	○
					△

資料の要点
A 視覚的に
B 情報に
C 他が見
D なる見
E なる見

① グルンで出される情報を、関連性について比較しよう。
② 自分達の知識の中から、パナマスカンピオンシップについて比較しよう。
③ 富岡製茶場の歴史を、関連性について比較しよう。

令和5年度 年生徒用ワークシート (A)組(カ)番(氏名)
話し合ってみよう。パナマスカンピオンシップの「三」
群馬の魅力についてパナマスカンピオンシップしよう。
ゆめ・パナマスカンピオンシップに挑戦しよう。情報は何かを考えよう。
富岡製茶場の歴史を、関連性について比較しよう。

合橋 朝比奈

立場【世界遺産】

⑤	④	③	②	①	理由
新しい知識が多い。 具体的な数値が出ている。 歴史がある。	新しい知識が多い。 具体的な数値が出ている。 歴史がある。	具体的な数値が示されている。 富岡製茶場の歴史がわかる。 富岡製茶場の歴史がわかる。	富岡製茶場の歴史がわかる。 富岡製茶場の歴史がわかる。 富岡製茶場の歴史がわかる。	富岡製茶場の歴史がわかる。 富岡製茶場の歴史がわかる。 富岡製茶場の歴史がわかる。	富岡製茶場の歴史がわかる。 富岡製茶場の歴史がわかる。 富岡製茶場の歴史がわかる。
○					

富岡製茶場の歴史がわかる。
富岡製茶場の歴史がわかる。
富岡製茶場の歴史がわかる。

情報カード

タイトル 戦争という暗黒復興の第一歩

①資料の要点
②資料の内容(引用)

昭和16年以降、日本が資源不足を克服するために、生糸の対外輸出に途絶え、多くの製茶場は雇用工場への転換を迫られる。前橋空襲の10日後、日本は無条件降伏する。富岡市製茶場の跡跡的に空襲を受けた。しかし、他の工場は消失した。輸出ができた期間、それまで生産されていた生糸は丁寧に倉庫で保管され、戦後から自覚の目を待たれていた。

③資料を読んで気づいたこと、考えたこと、疑問に思ったこと
戦争中は、生産が止まっていた。富岡製茶場以外の工場は消失したが保管された生糸により、希望を待たれていた。

題名	世界遺産 富岡製茶場の歴史
引用したページ	90, 91
著者名	関川 誠・能谷 かつり
出版社名	株式会社 朝比奈
発行年	2014年 8月 5日